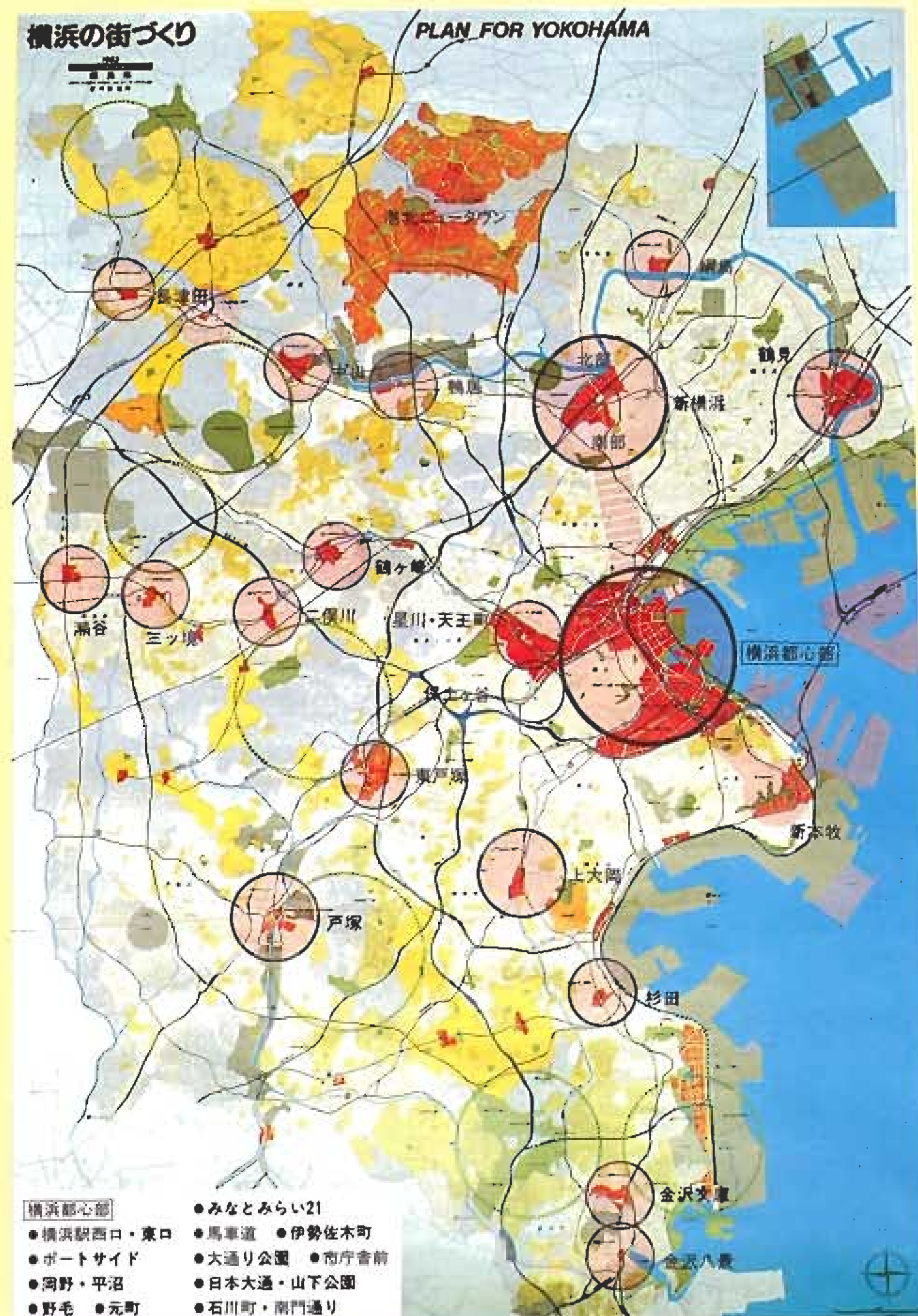


# あなたとつくる横浜の街づくり 「街づくり協議」ハンドブック



横浜市

## I. 街づくり協議に参加してください。

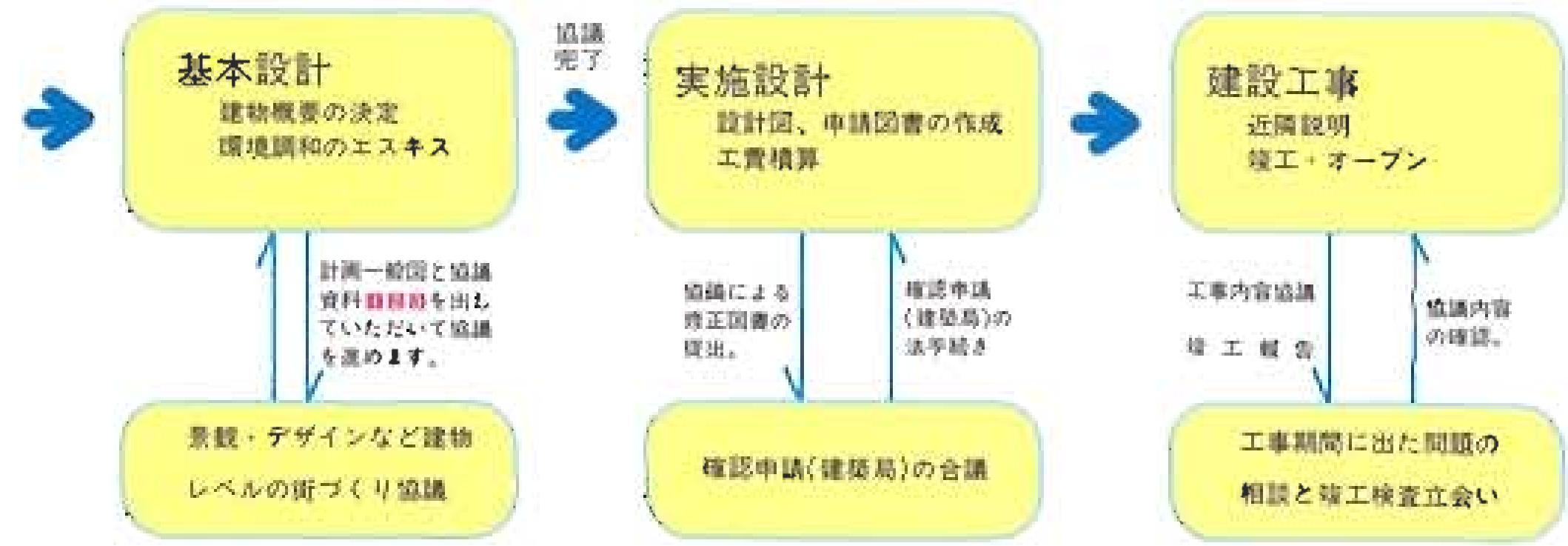
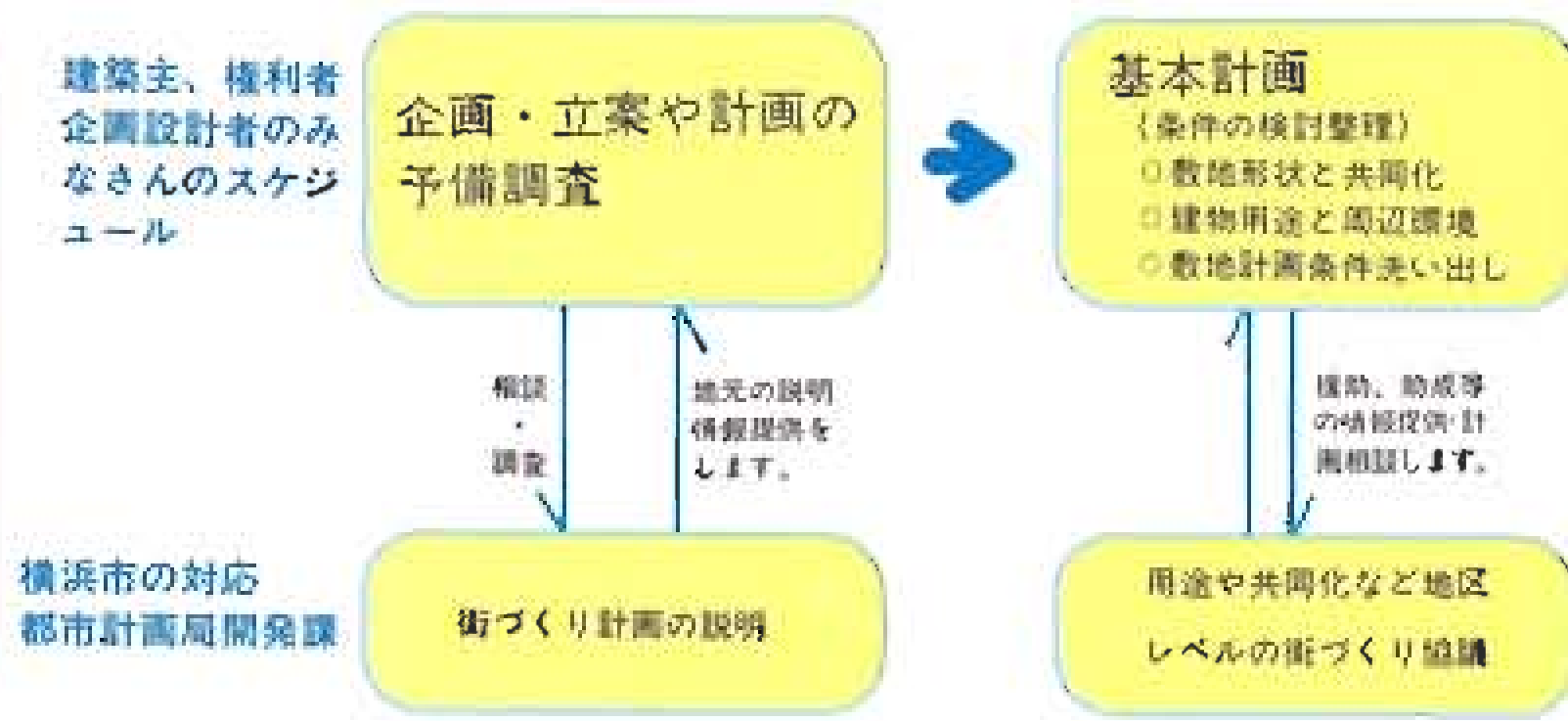


● 横浜市では31の地区について、地権者や設計者のみなさんと「街づくり協議」を進めています。



# 街づくり協議の進め方

- 一語に街づくりを考える便利な小道具を私達が紹介します。
- 計画スケジュールに合わせて協議を行います。機を逃がさないようにお願いします。



## ●街づくり協議を進めるために

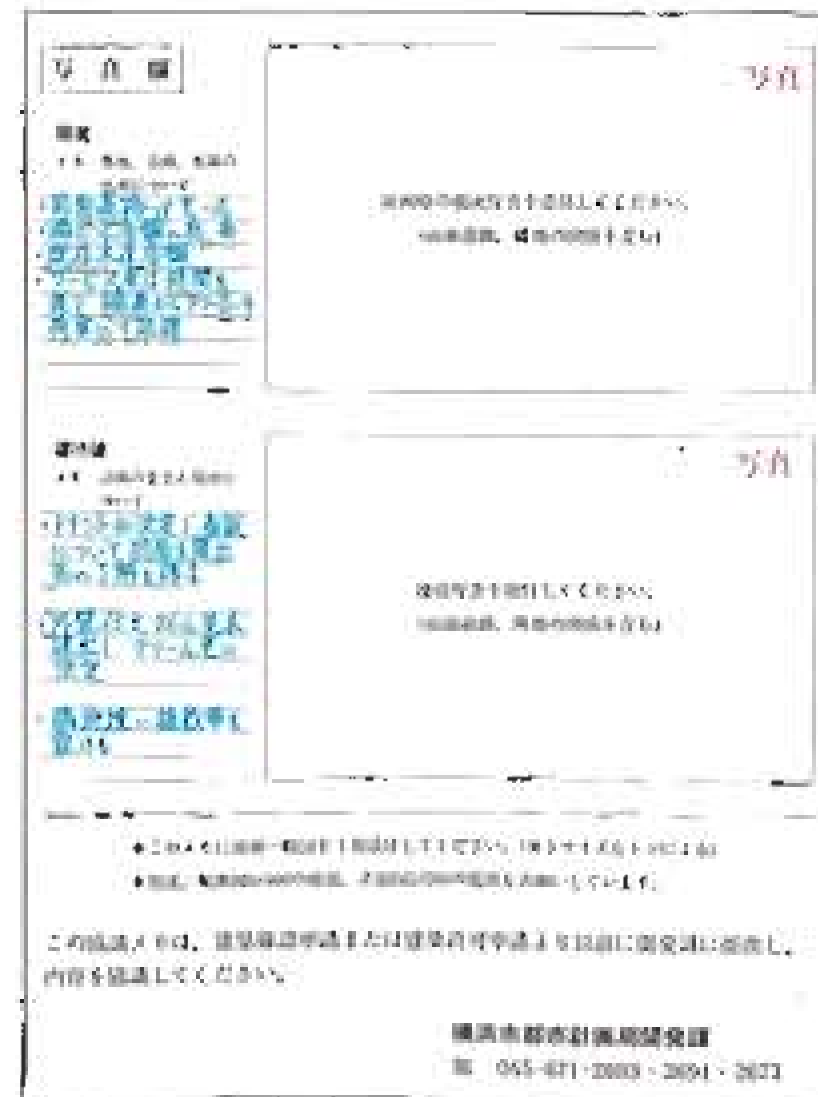
私達は、計画の進捗よくに合った適切なアドバイスやお手伝いができるように、3つの道具づくりをみなさんをお願いしています。

これは、個々の敷地について、その抱える問題点、計画の難しさ、街づくりからの課題などを整理し、協議を現実的で有意義に進めるために必要なものです。私達、街づくり担当の視点と、建物づくりから近隣環境をつくれるみなさんの視点とを一つの土俵

にのせ、より良い解答に近づきたいと考えています。また、上のフローチャートはみなさんのスケジュールを模式化したものです。敷地条件や企画に関する内容はより早く、景観デザインの内容は設計の時期に合せ、協議や情報交換されることが良いと思います。このフローは、みなさんの作業の大きな負担にならずに、日常の設計活動で行っている検討過程をオープンにさせていただきだけのものです。

### 1 街づくり協議メモ

私達は、右のような協議メモを用意しています。みなさんの計画概要や敷地の現況写真を準備して協議に入ってください。詳細は協議の中で加筆できます。また、竣工後は竣工写真を提出してください。

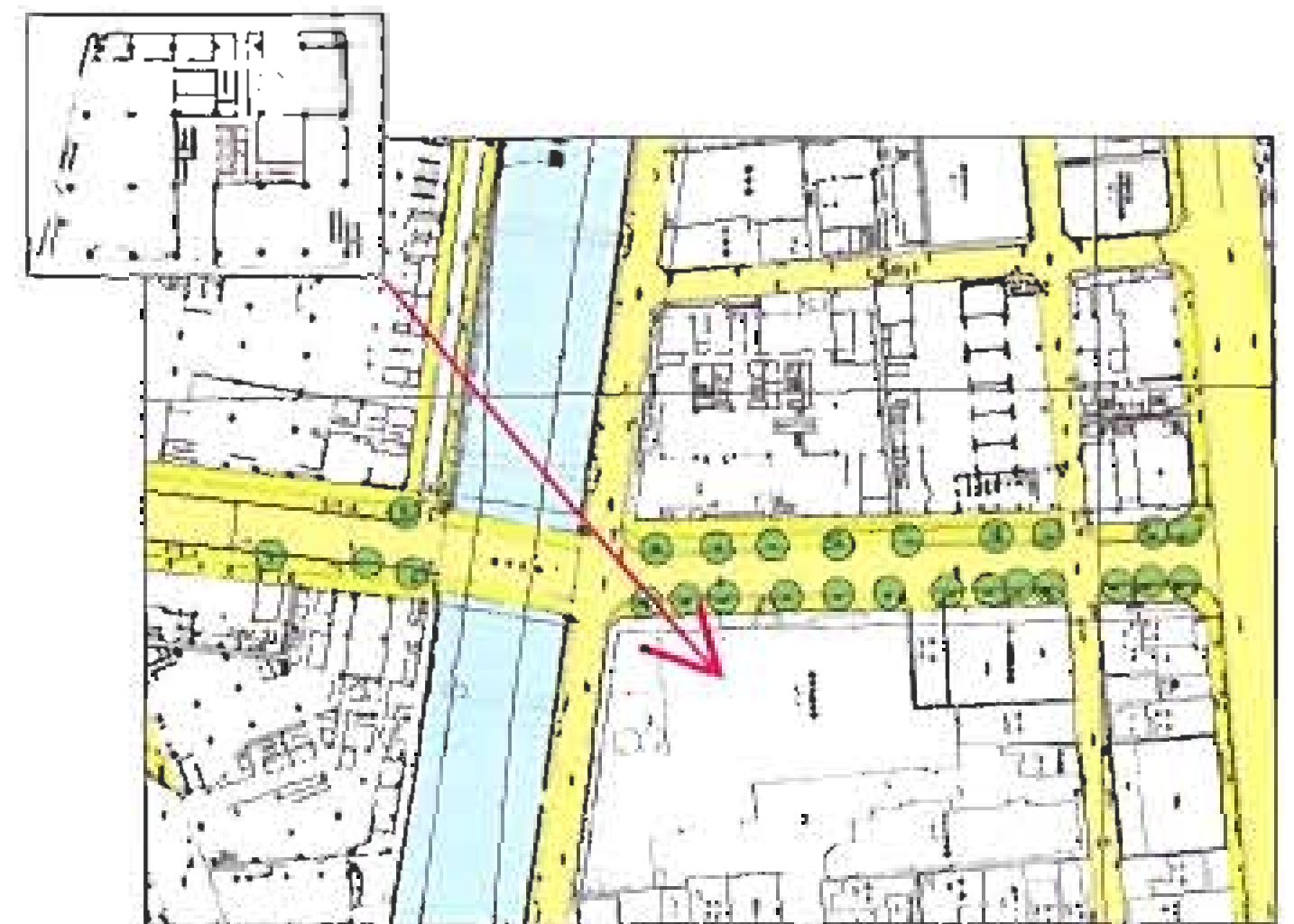


### 2 1/500の配置図 (1階平面・外構を含む)

設計者のみなさんは、1階平面図・外構を書き込んだ1/500の配置図をつくり、1部切り抜いてお持ちください。

地区の情報や公共事業などの予定についてお知らせします。公開空地や緑化、駐車場出入口などについてどういう効果が地区にもたらせるか、図上に配置して検討してください。

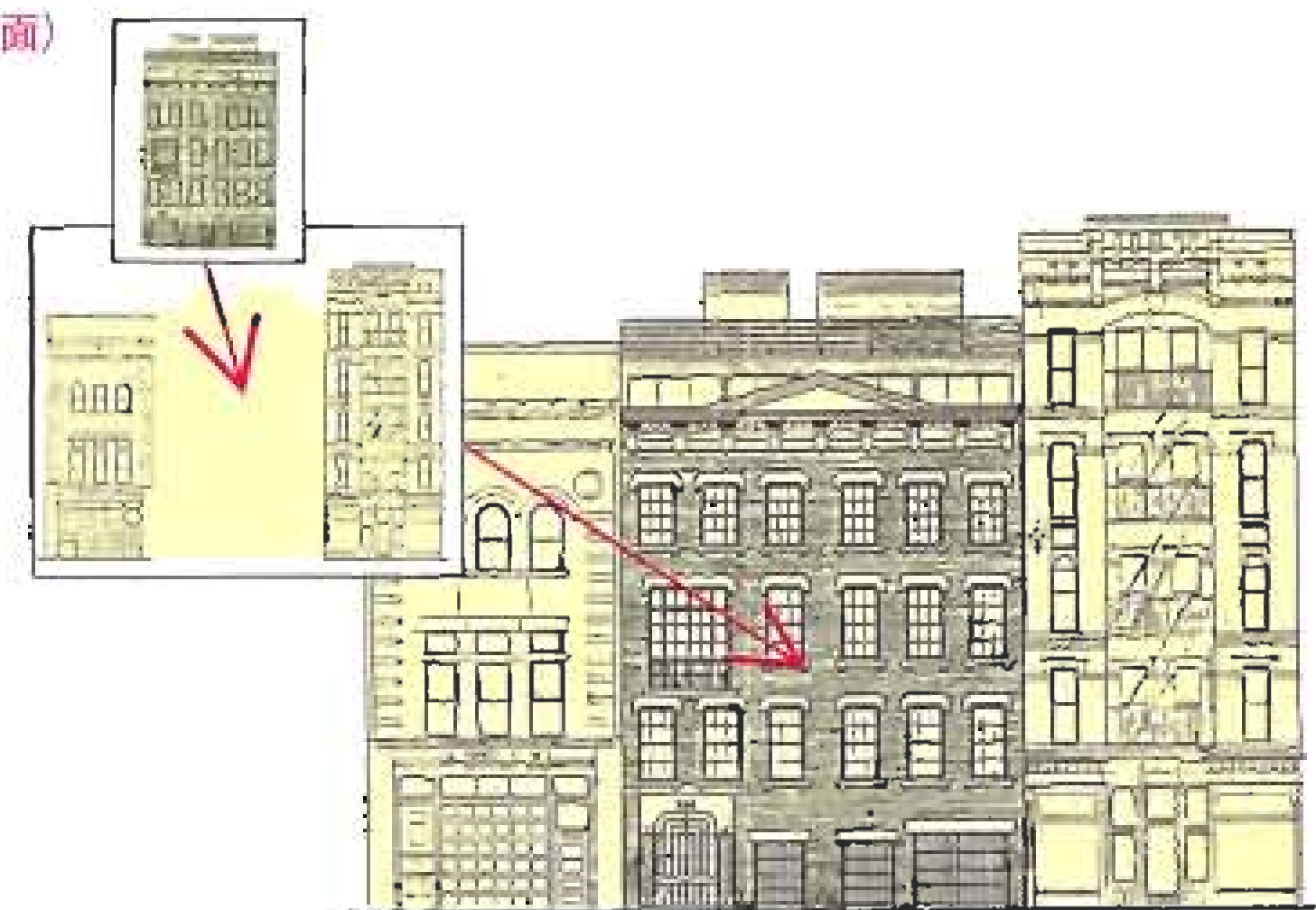
- 決定図面は貼り込まれ、地域の情報財産として、これからの街づくりの役に立ちます。他の敷地への伝言も伝えます。



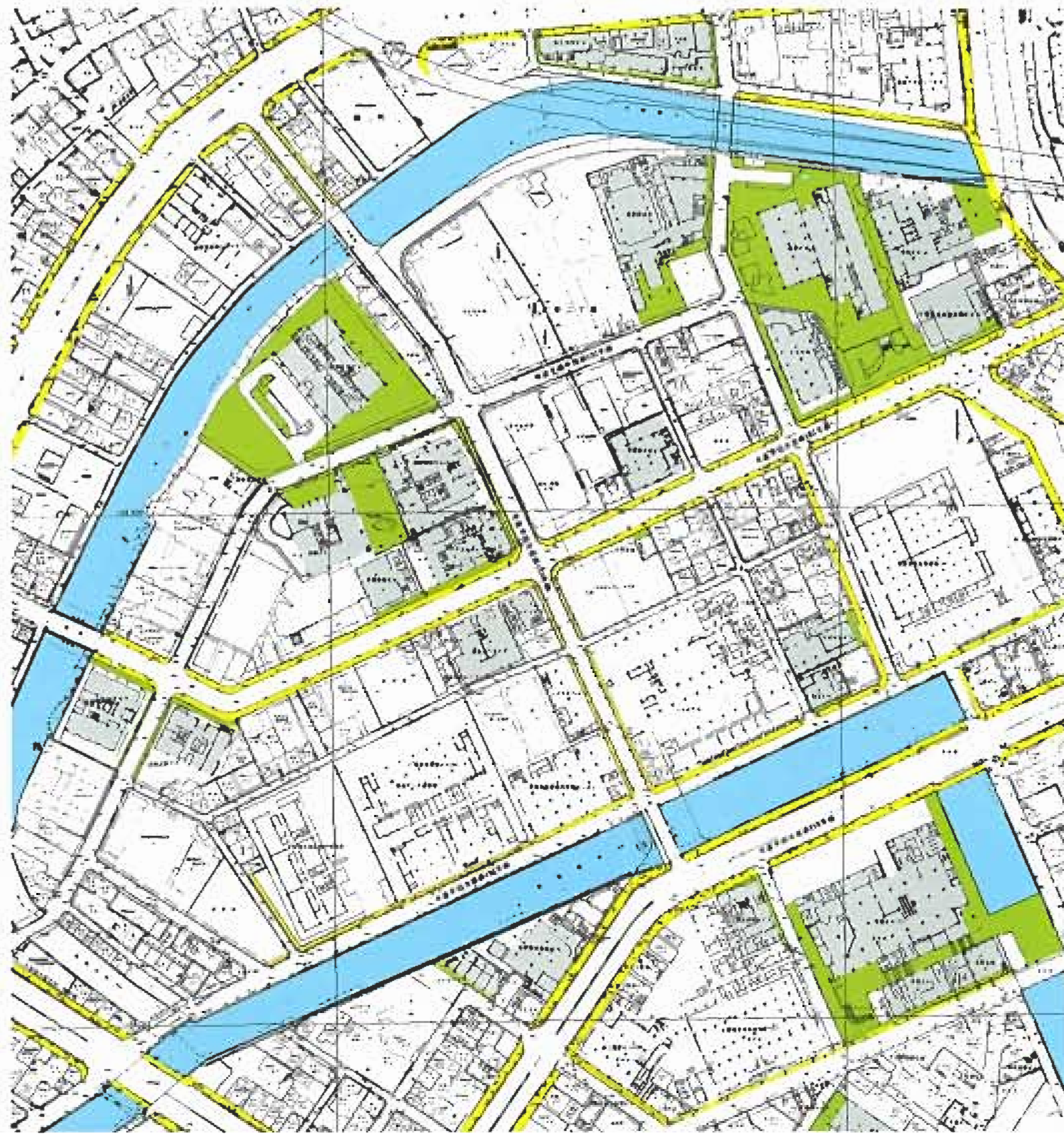
### 3 1/200の立面図 (道路に面した立面)

設計者のみなさんは、それぞれの道路に面した1/200の立面図 (屋上工作物・看板・外構立面を含む) をつくり、1部切り抜いてお持ちください。色彩計画は色をつけてください。地区の情報をお知らせします。建物立面の効果が街並としてどうなるか、スカイライン、階高の調和や、建物デザイン、看板、緑化などについて検討してください。

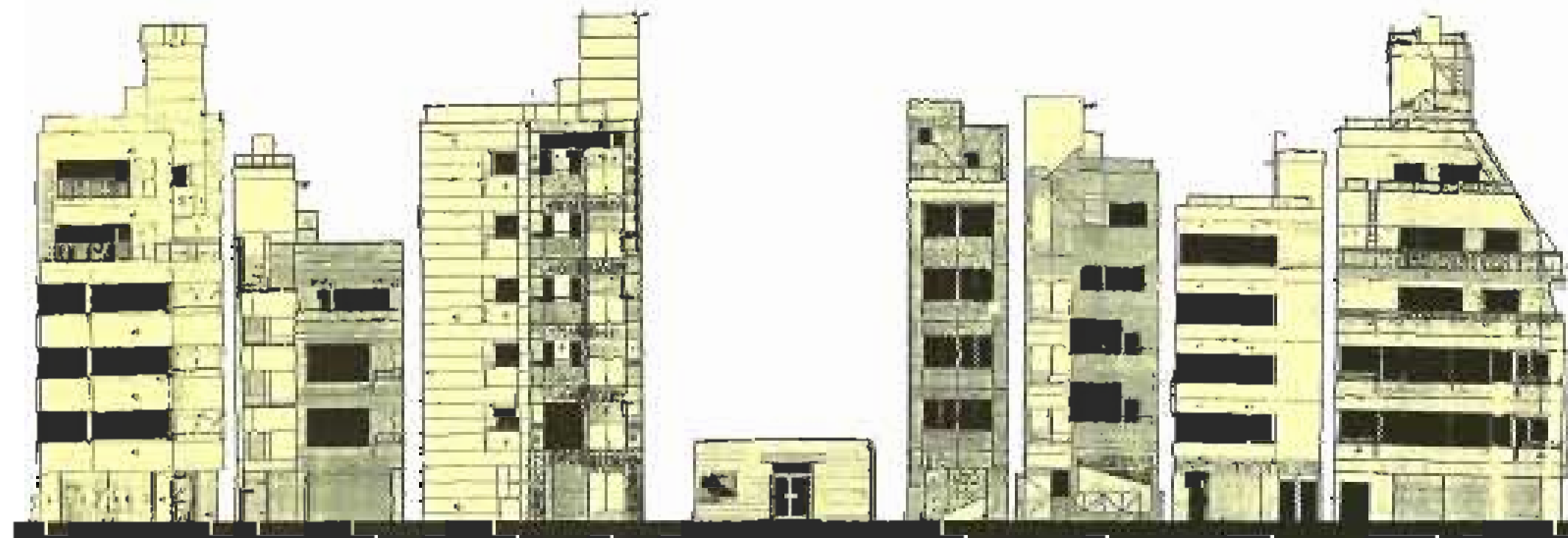
- 決定図面は、ファイルされ保存します。



●平面図が集まると、このように地域環境の情報となり、街づくり協議の道具となります。



●通り全体の建物更新が進むと、立面図が連続した街並図となります。今後、地区の課題や整備などの検討資料とします。



## からの街づくり手法

### ●街づくり協議の項目

次のような項目について、情報提供や協議を行います。計画を進める際のチェックシートとして一度読めてください。

	調査・企画のとき	基本計画のとき	設計に進んで
A. 建物や敷地の共同化	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接地も含めて条件整理を行い、敷地の規模を増やすことを検討してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同化の方法を検討し、各種助成制度の活用を図ってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共有部分のデザインに街への配慮をお願いします。</li> </ul>
B. 壁面種と公開空地	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区の協定や整備計画の内容を提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者空間の拡大や活動の場の確保を計画に組み入れてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開空地のデザインは、隣接地との調和を図り、質の高いものを目指してください。</li> </ul>
C. 地区環境と建物用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の将来像や意向などについてお知らせします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の用途やテナントの種類に応じて、地域環境との調和を考慮してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1階部分は、公開性のある施設やデザインをお願いします。</li> </ul>
D. 景観デザイン (1)建物	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区の協定や整備計画の内容をお知らせします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置・立面などを検討する際は、周辺環境との調和に配慮をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外装仕上の材料や色調は、地区の基調色を考慮してください。</li> </ul>
E. 景観デザイン (2)広告物・サイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接地の平面・立面図を提供します。周辺環境との調和を検討するための資料としてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広告物やサインは必要最小限にとどめ、効果的なものとなるように検討ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物のデザインと総合的に検討してください。</li> </ul>
F. 景観デザイン (3)設備・付属物		<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の中でできるだけ納め、外部に出る場合は、その見え方に配慮をお願いします。</li> </ul>	
G. 駐車場のつくり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の交通量、前面道路の幅員、周辺駐車場の整備状況は必ず調べてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要駐車台数は敷地内に設けることを原則とし、アクセスの方法、出入口の安全性、通りからの見え方に配慮をお願いします。</li> </ul>	
H. 緑化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候、日差しなどの条件や街路樹の配置を調べてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑量を確保することを基本として、季節感のある魅力的な計画をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹種の選定には、メンテナンスを考慮し、高木、中低木を効果的に配置してください。</li> </ul>
I. 魅力づくりのアイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>種々の事例や、アイデアについての情報をお知らせします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>種々のアイデアを考慮し、敷地の全体環境のデザインを検討してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通りや広場に配置するものは、歩行者の通行に支障がでないよう配慮してください。</li> </ul>